



## ＝今月のトピック＝

# 校外に飛び出す浦高生

## 本格的な科学研究

3年次課題研究19班は、「生物分解できる漁網の研究～キチン繊維の可能性～」というテーマで研究を進めています。この班は、8月3日(土)に宮城県仙台市で開催された「マリンチャレンジプログラム2024 北海道・東北大会」にエントリーし、優秀賞を受賞しました。その結果、来年2月に東京で開催される全国大会に出場することとなりました。

そこで、19班の中川葵さんと菊池華代さんに話を聞きました。



### ○研究のきっかけは？

「科学と人間生活」という科目で受けたウニの発生授業で、海洋生物に興味を持ったのがきっかけです。海洋ゴミの問題と、オオズワイガニが獲れすぎて困っているというニュースを掛け合わせ、身近な地域課題を解決できるのではないかと考え、担当の庄司先生と研究を進めてきました。



### ○「マリンチャレンジプログラム2024 北海道・東北大会」の感想は？

自分たちの発表は、緊張しませんでした。高校生活の中で、人前で発表する機会が多くあり、場慣れしていたのだと思います。他の班の発表を聞いて、自分たちにはない環境下で考えられた課題などを知ることができ、勉強になって楽しかったです。



### ○今後の展望・全国大会に向けて

まずは受験勉強をがんばります。勉強と課題研究をうまく両立しながら、ポスターセッションで質問された専門的なことにも答えられるように準備したいです。



菊池さん

中川さん

## 外国人との共生社会を目指して

2年次課題研究12班が、8月29日(木)に地域包括支援センターで開催された「にこにこカフェ」にて、翻訳絵本の読み聞かせを行いました。多文化共生社会をさらに充実させるために、外国人の子どもたちが日本の文化に気軽に触れられる機会を作ればと、日本の絵本をヒンディー語や英語に翻訳する課題研究を行っています。当日は、浦河町役場や国際交流員の方々に協力していただき、インド人親子に絵本を読んでもらうことができました。

今回の気づきを元に、今後の活動にさらに力を入れ、研究を続けていきます。



## 夏休み中もたくさんの活動に挑戦しました！

わらしべ園  
茶道部による「野点の会」



七夕まつりボランティア



夢の幼稚園  
シニアリーダー事業



吹奏楽局が、浦河港まつりのオープニングで、7曲の楽曲を演奏しました。



吹奏楽局は、8月3日（土）に行われた日胆地区吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、全道大会に進出しました。そして、8月29日（木）に行われた北海道吹奏楽コンクールでは、銀賞という成績を収めました。この結果に、悔し涙を浮かべる生徒もいましたが、これからのさらなる躍進が期待されます。

## 大学生が浦高を訪れました ~ふるさとワーキングホリデー

ふるさとワーキングホリデーで浦河町を訪れた大学生が、本校に5日間に渡って来校しました。訪れたのは、和歌山大学観光学部の渡邊拓大さんと、立命館大学大学院情報理工学研究科の菅原颯真さんと、課題研究や「社会との共創プロジェクト」で地域課題等について研究している生徒たちに助言を行ったほか、大学受験の対策や心得、大学での学びについての座談会を実施しました。

大学で研究活動を行う学生から助言をいただいたことで、研究内容や方向性について考えを深められたり、大学進学、そして就職について意識を高めたりすることができました。



## 新しいALTが着任しました

名 前：Jackson Pierce (ジャクソン・ピアース)  
出 身：アメリカ ケンタッキー州  
前 職：大学生 (研究員として勤めながら、環境科学について研究していたそうです)  
なぜ日本へ? : 日本文化について勉強しており、実際に現地 (日本) の空気感に触れたいと思ったから。  
好きな食べ物 : 広島のお好み焼き、チーズバーガー  
浦高の印象 : very nice!!  
浦河町の印象 : ケンタッキー州には海がないから、うれしい!!  
浦高生に一言 : I'm looking forward to seeing new students!!



よろしくお願いします!!

